

空知信用金庫・第143回地域企業景気動向調査

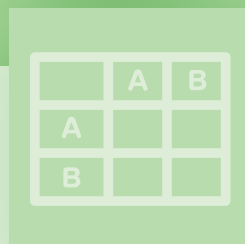
景況レポート

2022.4

このレポートは、空知信用金庫が岩見沢・美唄・三笠・栗山・由仁・長沼・南幌・江別に所在の地元企業のご協力により、令和4年1月～3月の景気の現状と令和4年4月～6月の見通しを調査したものです。

令和4年4月末日

空知信用金庫・地域支援部
岩見沢市3条西6丁目2番地1
電話 (0126) 22-1171



第143回 地域企業景気動向調査要項

1. 調査地域

岩見沢市・美瑛市・三笠市・江別市・栗山町・長沼町・南幌町・由仁町

2. 調査対象期間

令和4年1月～令和4年3月期（実績） 令和4年4月～令和4年6月期（予想）
令和4年2月24日～3月7日に実施

3. 調査の方法

面接・聞き取りによる調査

標本（調査対象企業）の抽出法としては、標本の業種・規模等の基本属性が、母集団（当金庫融資取引先）の属性に見合う基準にもとづく、有意抽出法によるもの。

4. 業況判断指数

D・I値による判断

D・Iとは？ Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略
企業の業況判断等を指数化したものであり、景気動向の方向性を示したものだ。
D・Iが高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

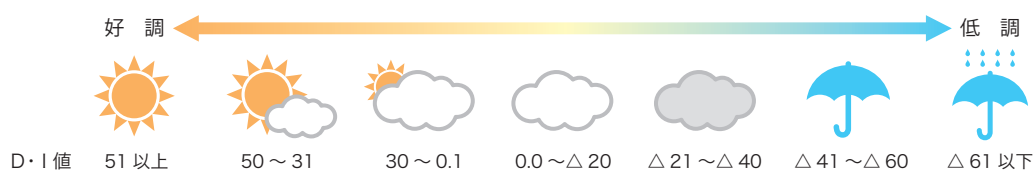
D・I値 = 「増加・やや増加・上昇の割合」 - 「減少・やや減少・下降の割合」

5. 調査対象企業数・有効回答数の内訳

区 分	調 査 対 象 企 業	有 効 回 答 数	有効回答率 (%)
製 造 業	2 4	2 3	9 6
卸 売 業	1 4	1 4	1 0 0
小 売 業	5 7	5 5	9 6
サ ー ビ ス 業	3 2	3 0	9 4
建 設 業	4 3	4 3	1 0 0
不 動 産 業	7	7	1 0 0
運 輸 業	1 7	1 7	1 0 0
農 業	2 8	2 7	9 6
計	2 2 2	2 1 6	9 7

6. 天気図の見方

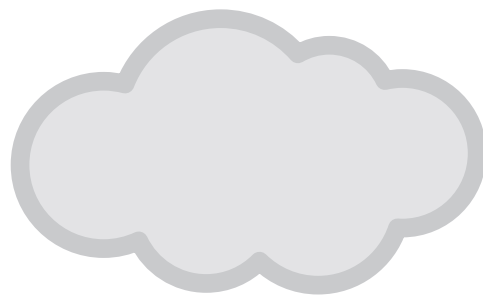
景気指標を総合的に判断して作成



7. 特別調査

「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について」

総合



概況

仕入価格高騰による価格転嫁が経営上のカギに

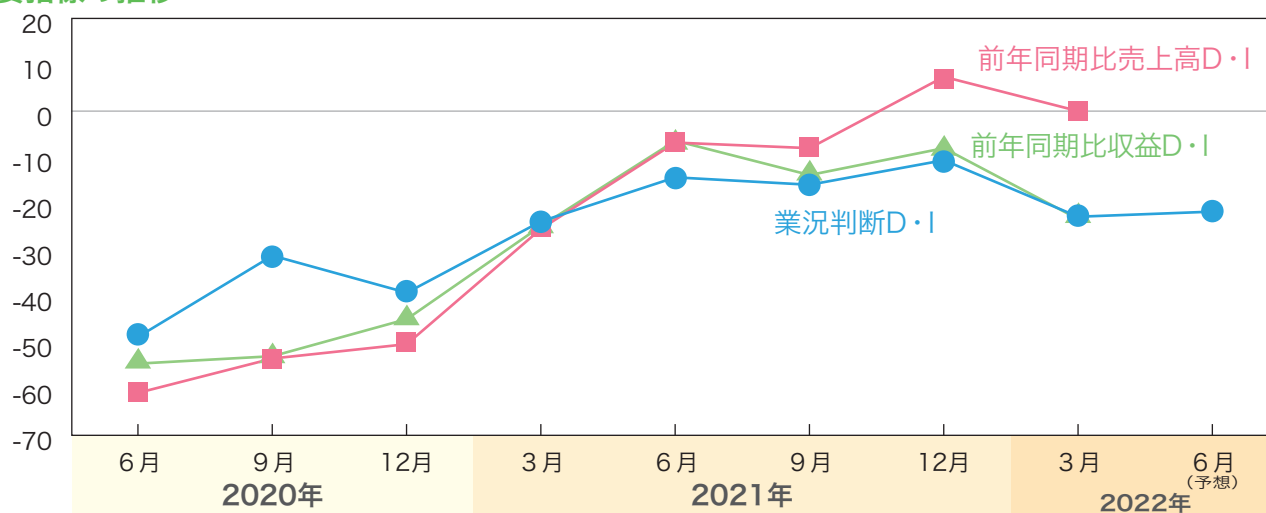
今期の業況判断指数（D・I値）は、△22.8と前期（10月～12月）より12.2ポイント下落し、2期ぶりに悪化しました。小売・不動産・運輸業が横這い、他の5業種で下降しました。売上高D・Iが0.0と前期比7.4ポイント悪化。また収益D・Iも△23.3と同15.3ポイント悪化となり、原材料価格の上昇の影響を受けました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△23.8	△10.6	△22.8	△21.7
売上高D・I	△25.4	7.4	0.0	—
収益D・I	△24.8	△8.0	△23.3	—

来期の見通しについて

来期の予想業況判断指数（D・I値）は△21.7で今期実績比1.1ポイントの小幅改善見通しです。業種別では、8業種中、建設・不動産・農業で小幅下落、残りの5業種でやや改善の見通しです。但し、現時点の地政学的リスクや円安の展開状況によっては下振れリスクが懸念されます。

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△4.3	26.1	39.1	43.5
卸 売	—	50.0	42.9	42.9
小 売	5.5	25.5	36.4	29.1
サービス	△3.4	6.7	10.0	10.0
建 設	9.3	23.3	34.9	23.3
不 動 産	△14.3	14.3	14.3	—
運 輸	5.9	5.9	17.6	11.7
農 業	△11.1	△25.9	△11.1	△3.7

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

○仕入価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	26.1	56.5	73.9	65.2
卸 売	—	57.1	71.4	57.1
小 売	5.5	52.7	60.0	50.9
サービス	0.0	40.0	36.7	16.7
建 設	9.3	72.1	81.4	67.4
不 動 産	—	14.3	14.3	—
運 輸	58.8	76.5	100.0	94.1
農 業	3.7	37.0	48.1	40.7

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△43.5	△43.5	△26.1	△30.5
卸 売	△21.4	△28.6	△42.9	△42.9
小 売	△18.2	△20.0	△14.5	△12.7
サービス	△36.7	△10.0	△30.0	△23.3
建 設	△41.9	△27.9	△27.9	△27.9
不 動 産	△14.3	△14.3	△14.3	△14.3
運 輸	△70.6	△47.1	△52.9	△52.9
農 業	—	—	—	—

○残業時間D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	0.0	△4.4	△17.4	△4.3
卸 売	△14.3	7.1	—	△7.1
小 売	△5.5	0.0	△3.7	△9.1
サービス	△13.4	△3.3	△3.4	△3.4
建 設	16.3	△2.4	4.7	△4.7
不 動 産	—	—	—	—
運 輸	11.7	△5.9	0.0	△23.5
農 業	—	—	—	—

○借入金の動き・難易度

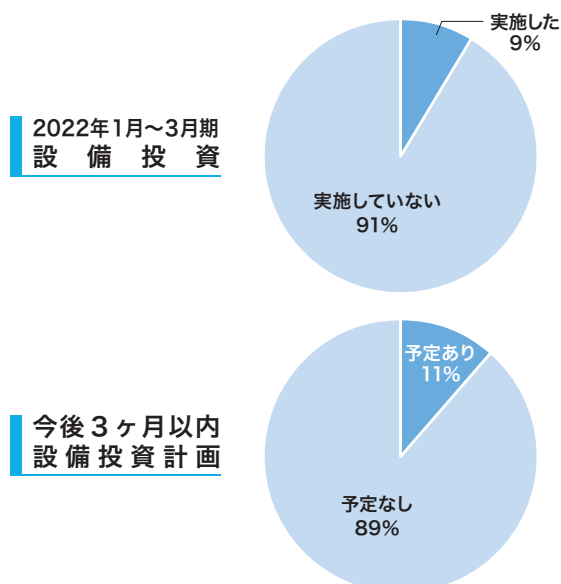
(%)

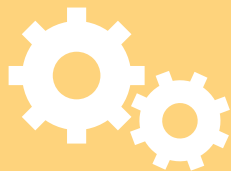
	借入金の実施	借入金の予定	民間金融機関からの借入難易度			
	し た	あ る	容 易	変わらない	難しい	該当なし
製 造	17.4	13.0	17.4	52.2	8.7	21.7
卸 売	14.3	21.4	21.4	71.4	7.2	—
小 売	10.9	7.3	5.5	70.9	9.1	14.5
サービス	13.3	6.7	3.3	86.7	—	10.0
建 設	14.0	18.6	20.9	62.8	4.7	11.6
不 動 産	14.3	—	—	85.7	—	14.3
運 輸	23.5	29.4	17.6	64.7	11.8	5.9

○設備投資の動き

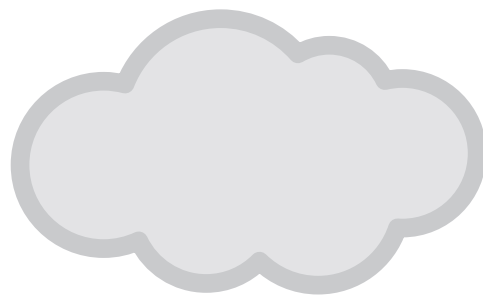
(%)

	前年同期	前 期	今 期	実施予定
製 造	13.0	21.7	4.3	8.7
卸 売	7.1	7.1	28.6	21.4
小 売	7.3	12.7	7.3	10.9
サービス	13.3	16.7	3.3	6.7
建 設	7.0	14.0	9.3	9.3
不 動 産	—	—	—	—
運 輸	11.8	5.9	11.8	17.6
農 業	11.1	3.7	7.4	14.8





製造業



概況

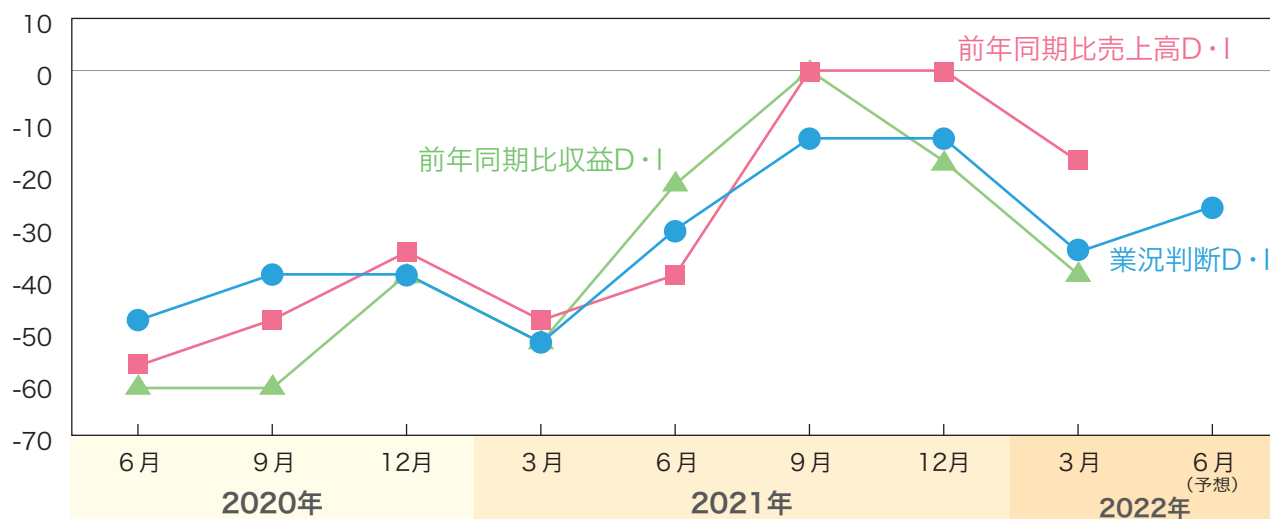
今期の業況判断指数（D・I値）は、△34.8と前期（10月～12月）に比べ21.8ポイント悪化しました。要因は、業種全体では前期並みの水準は維持されましたが、特に食料品製造業において原材料の高騰、仕入の遅延等により大幅に悪化したことによるものです。収益D・I値が△39.1まで下落しました。コスト増加に対し、価格転嫁は一部に止まり、経営を圧迫する一因となりました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△52.2	△13.0	△34.8	△26.1
売上高D・I	△47.9	0.0	△17.4	—
収益D・I	△52.2	△17.4	△39.1	—

来期の見通しについて

農機具製造業でやや改善、食料品製造業も今期より改善は予想するも、マイナス圏に止まっております。製造業全体では小幅改善見込みですが、低調な業況が継続される見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・コロナウイルス感染拡大により、設備投資需要低迷し、受注の減少続く。
- ・売上は前年度と比較し微少、原油価格の高騰から工場稼働経費が上昇している。
- ・原材料の高騰、仕入の遅延による業務停滞あるものの、業況は安定している（販売価格に多少転嫁可能）。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 56.5%	売上の停滞・減少 52.2%
第2位	原材料高 34.8%	工場・機械の狭小・老朽化 43.5%
第3位	工場・機械の狭小・老朽化 30.4%	人手不足 30.4%

(複数回答)

当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 60.9%	経費を節減する 56.5%
第2位	経費を節減する 47.8%	販路を広げる 47.8%
第3位	人材を確保する 26.1%	人材を確保する 39.1%

(複数回答)



卸売業



概況

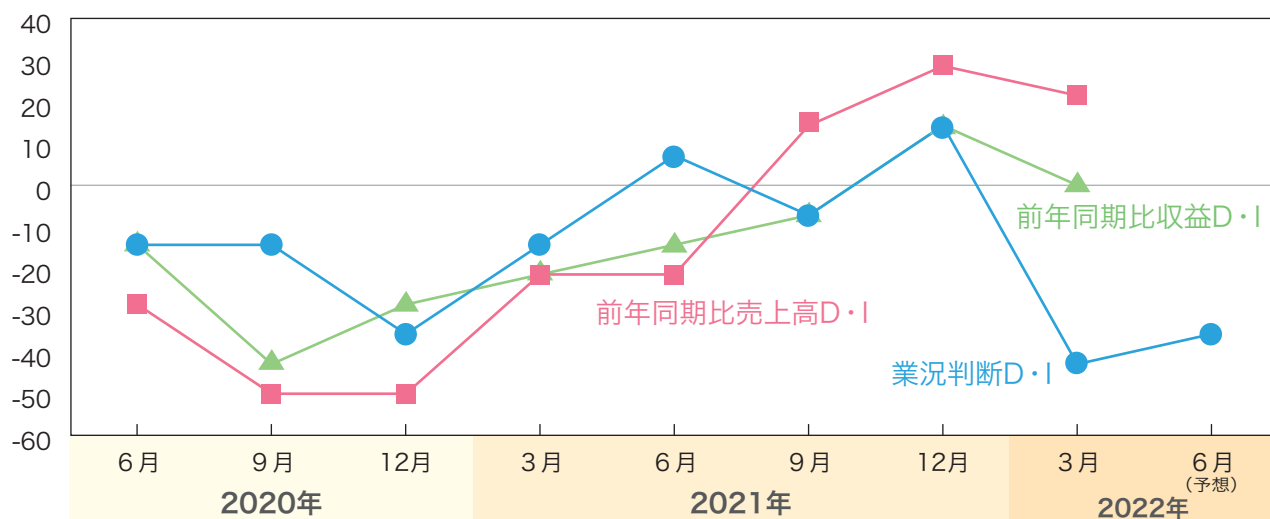
今期の業況判断指数（D・I値）は、△42.9と前期（10月～12月）に比べ57.2ポイント大幅に悪化しました。農畜産物・水産物、食料・飲料、機械器具及び建築材料卸売業でプラス水準からマイナスへ転じて大幅に悪化したことが、押下げ要因となりました。収益D・Iは14.3ポイント下落しましたが、資材高騰、配送コストの上昇に対しある程度の価格転嫁によって、かろうじてプラス圏に止まりました。

来期の見通しについて

農畜産物・水産物、機械器具及び建築材料卸売業でマイナス水準ながら小幅改善を見込みますが、全体では横這いの見通しです。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△14.3	14.3	△42.9	△35.7
売上高D・I	△21.4	28.6	21.5	—
収益D・I	△21.4	14.3	0.0	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・従業員1名退職により人員不足、募集するも確保できていない。
- ・前期に比べ、売上減少。仕入価格高騰あり。
- ・配送コストが上がっている。今後、どこまで上がるのか見通せない。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 50.0%	売上の停滞・減少 50.0%
第2位	人手不足 28.6%	人手不足 35.7%
第3位	業者間の競争の激化 21.4%	仕入先からの値上げ要請 28.6%

(複数回答)

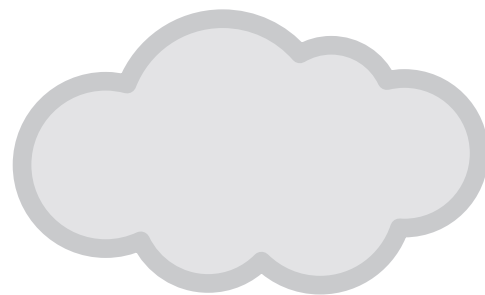
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 64.3%	販路を広げる 50.0%
第2位	人材を確保する 35.7%	経費を節減する 35.7%
第3位	情報力を強化する 21.4%	人材を確保する 28.6%

(複数回答)



小売業



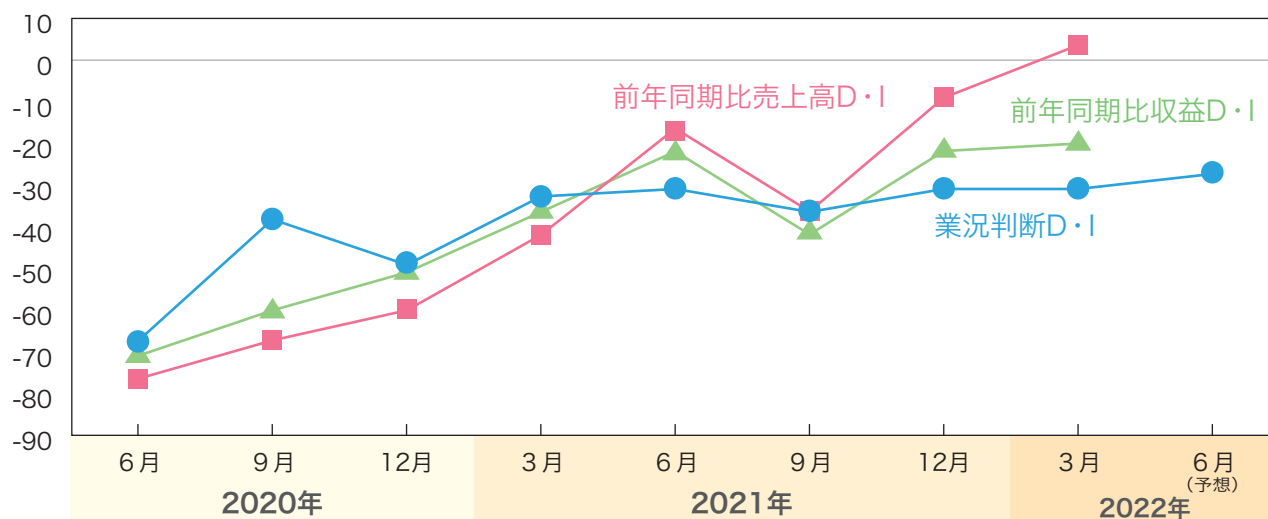
概況

今期の業況判断指数（D・I値）は、△30.9と前期（10月～12月）と変わらず、低調な業況で推移しました。自動車・自転車、家具・建具・什器、スポーツ関連及び家庭用機械・電気機械器具小売業で改善しましたが、衣料品、飲食料品及び木材・建築材料小売業で下降しました。全体を通して新型コロナの感染拡大による消費需要の停滞に影響されました。

来期の見通しについて

衣料品、飲食店、書籍・文房具及び医薬品・化粧品小売業で良化の見通しですが、燃料及び家具・建具・什器小売業では悪化を見込み、全体ではやや改善の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・コロナ長期化による農業政策の見直し（補助金削減）による農家（販売先）の設備ニーズの減少。
- ・ウクライナ紛争により、今後も原油価格不安定な状況は継続と判断している。
- ・オミクロン株等コロナウイルスの感染がまた広まり、飲食店への仕入量が減るなど、影響を受けている。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 61.8%	商圏人口の減少 54.5%
第2位	商圏人口の減少 50.9%	売上の停滞・減少 49.1%
第3位	大型店との競争激化 同業者間の競争の激化 18.2%	人手不足 21.8%

（複数回答）

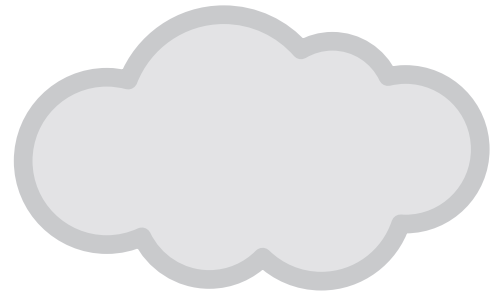
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 61.8%	経費を節減する 58.2%
第2位	品揃えを改善する 27.3%	売れ筋商品を取扱う 25.5%
第3位	人材を確保する 25.5%	人材を確保する 23.6%

（複数回答）



サービス業



概況

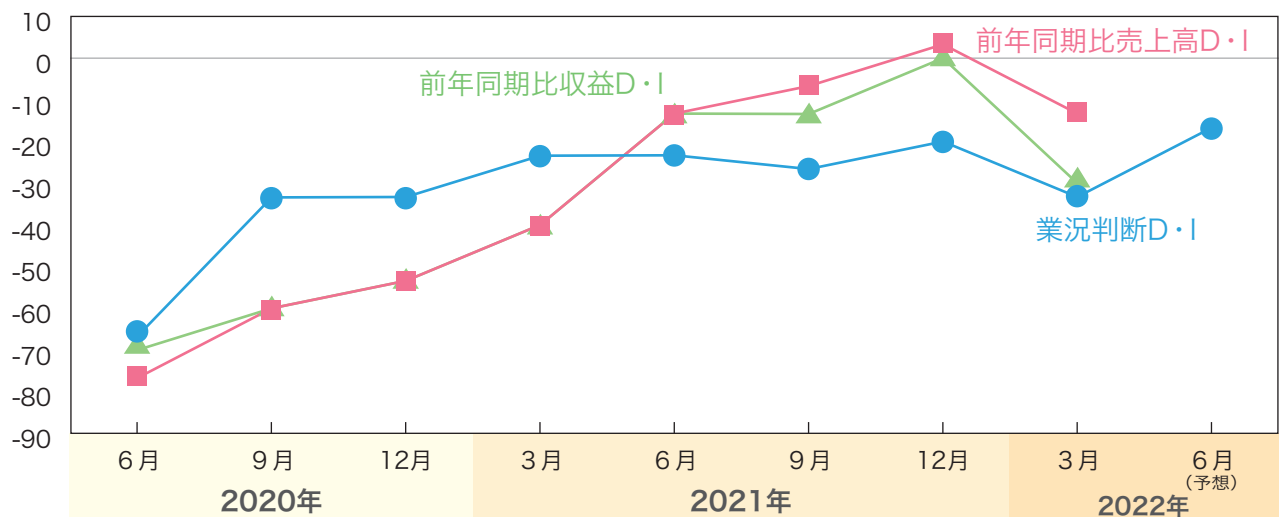
今期の業況判断指数（D・I値）は、△33.3と前期（10月～12月）に比べ13.3ポイントの悪化となり、比較的低調な業況が続きました。物品賃貸業で大幅改善となりましたが、旅館宿泊所、自動車整備及びその他サービス業で大きく下降し、全体の押し下げ要因となりました。自動車整備業では、新車や部品の調達遅延による売上への影響が生じております。

来期の見通しについて

物品賃貸業では今期の反動で下降見込ですが、自動車整備業、その他サービス業及び旅館宿泊所において今期実績より改善を見込み、やや業況は回復の見通しです。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△23.4	△20.0	△33.3	△16.7
売上高D・I	△40.0	3.3	△13.3	—
収益D・I	△40.0	0.0	△30.0	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・季節要因により、1～3月は売上減少。4～6月は入学など新年度に伴うチラシ増加により売上増加が見込める。（新聞販売業）
- ・冬季多忙期だが、部品価格は上昇している。また、供給不足している。（自動車整備業）
- ・仕入価格は上昇していないが、車輛・部品等の調達遅延が発生している。（同上）

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 53.3%	商圏人口の減少 売上の停滞・減少 40.0%
第2位	商圏人口の減少 40.0%	人手不足 30.0%
第3位	人手不足 36.7%	材料価格の上昇 同業者間の競争の激化 20.0%

（複数回答）

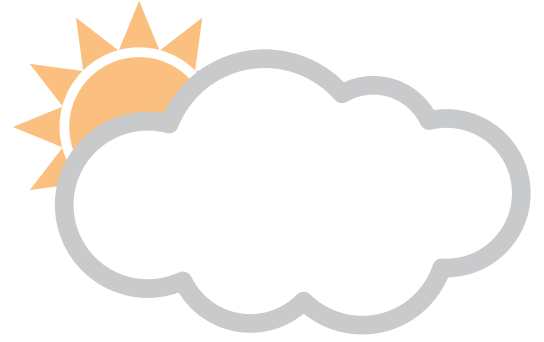
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 56.7%	経費を節減する 60.0%
第2位	経費を節減する 50.0%	販路を広げる 36.7%
第3位	人材を確保する 30.0%	人材を確保する 23.3%

（複数回答）



建設業



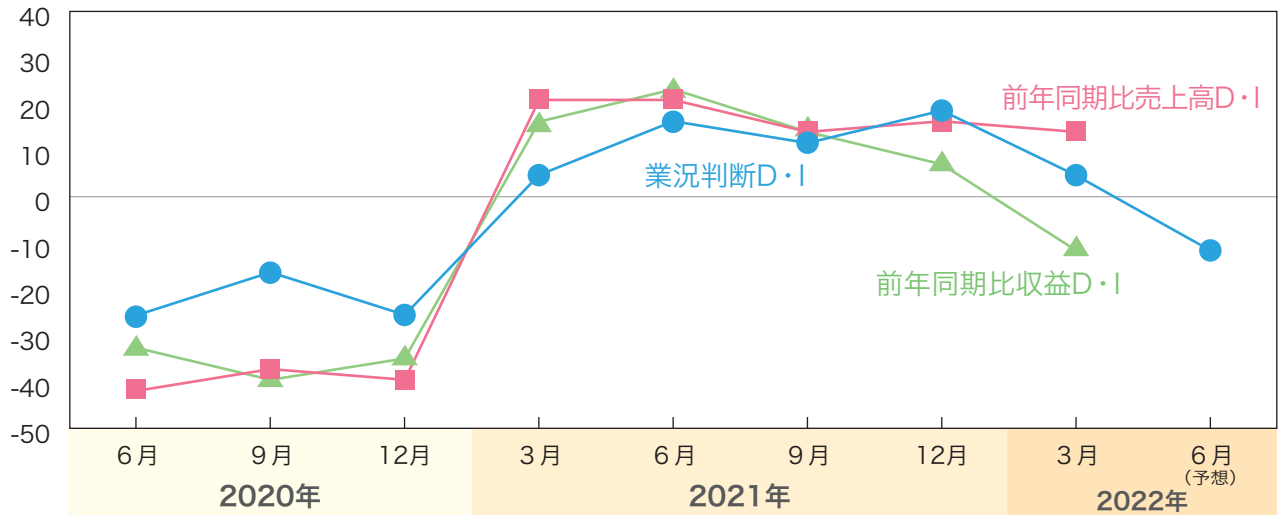
概況

今期の業況判断指数（D・I値）は、4.6と前期（10月～12月）から14.0ポイント悪化したものの、かろうじてプラス圏内は維持されました。主要指標の売上高D・Iは前期並みに推移しましたが、収益D・Iでは職別・設備工事及び設備工事業でマイナスに転じ、5期ぶりに水面下まで下降しました。仕入れ単価の上昇が採算を悪化させている状況がうかがえ、業況悪化の主因となりました。

来期の見通しについて

職別工事業は現状維持の見込みですが、設備工事業及び総合工事業で落込みを予想しており、全体では悪化の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・原材料の高騰が続いており、次年度以降の仕入価格の上昇が収益を圧迫する可能性がある。
- ・冬場の除排雪は前年比減少となるが、例年並みの受注は確保。次年度の公共工事の動向に業況左右される見込み。
- ・木材高騰、仕入が出来ない等から、見積の作成が困難になっている。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人手不足 46.5%	材料価格の上昇 51.2%
第2位	同業者間の競争の激化 37.2%	人手不足 34.9%
第3位	売上の停滞・減少 23.3%	同業者間の競争の激化 20.9%

(複数回答)

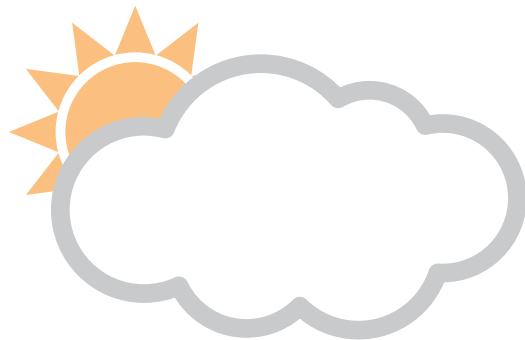
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人材を確保する 44.2%	経費を節減する 53.5%
第2位	経費を節減する 41.9%	人材を確保する 44.2%
第3位	販路を広げる 37.2%	販路を広げる 30.2%

(複数回答)



不動産業



概況

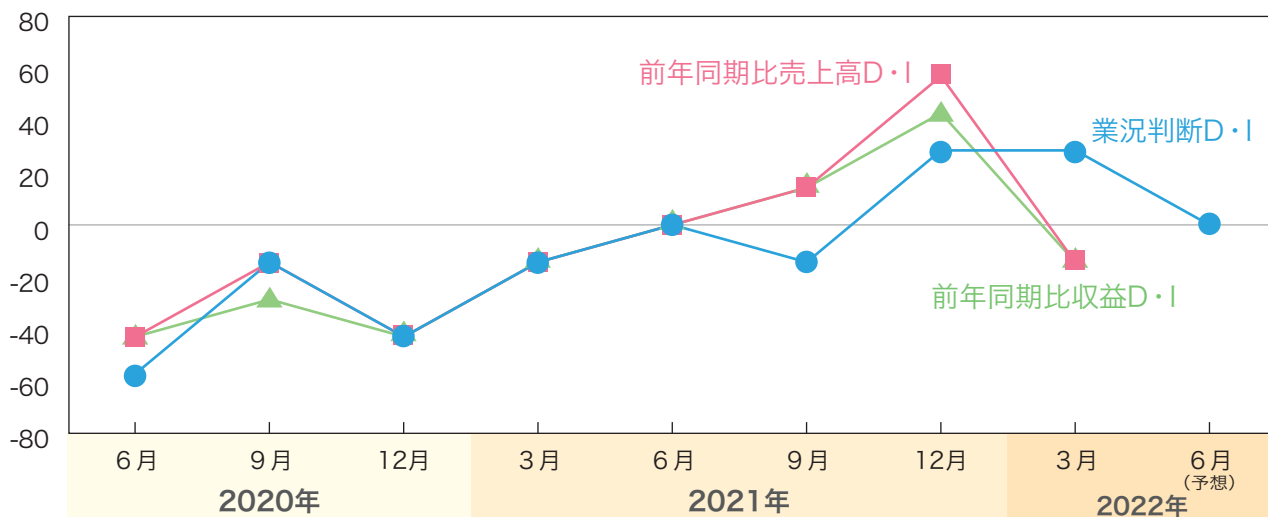
今期の業況判断指数（D・I値）は、28.6と前期（10月～12月）と変わらず、比較的好調な業況が継続しました。不動産仲介業で業況は好調に推移しましたが、他の業種は前期並みの低水準に止まりました。売上高D・Iが△14.3と前期比71.4ポイント悪化、また収益D・Iも△14.3で57.2ポイント悪化といずれも大きく落込みました。管内人口の減少、需要の停滞による物件の価格の低下が影響したと思われます。

来期の見通しについて

不動産代理・仲介業では消費動向の低迷から、今期実績を大きく下回る業況を見込み、貸事務所・貸家業では現状維持を見込むも、全体では悪化の予想です。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△14.3	28.6	28.6	—
売上高D・I	△14.3	57.1	△14.3	—
収益D・I	△14.3	42.9	△14.3	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・今期は不動産取扱高の増加により、増収増益となる見通し。
- ・自己所有賃貸アパートは現状満室で、春の転居シーズン後も満室の見込み。
- ・自社ビルのメンテナンス工事を予定。貸地の有効活用として賃貸住宅の建設を計画。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 57.1%	売上の停滞・減少 42.9%
第2位	同業者間の競争の激化 42.9%	商品物件の縮小 同業者間の競争の激化 28.6%
第3位	商品物件の縮小 利幅の縮小 28.6%	問題なし

（複数回答）

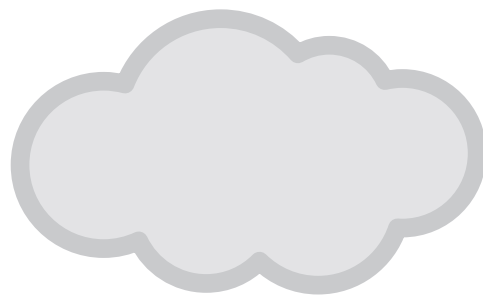
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 71.4%	経費を節減する 42.9%
第2位	販路を広げる 42.9%	宣伝・広告を強化する 販路を広げる 28.6%
第3位	情報力を強化する 宣伝・広告を強化する 28.6%	不動産の有効活用を図る 特になし

（複数回答）



運輸業



概況

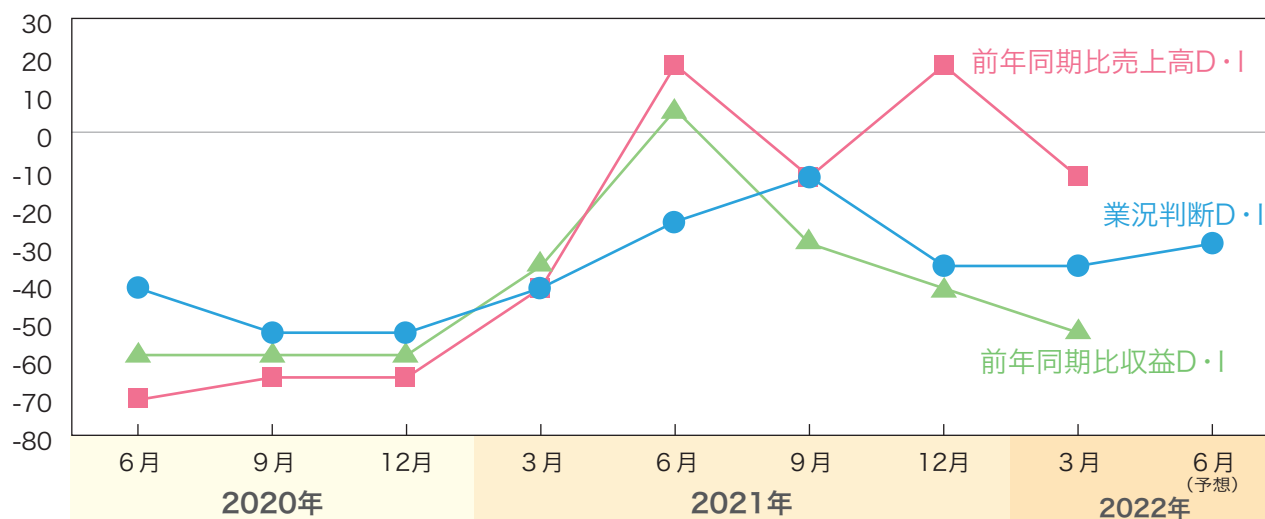
今期の業況判断指数（D・I値）は、△35.3と前期（10月～12月）と変わらず、低調な業況が継続しました。燃料価格の高騰に加え、人材不足（人手不足D・I △52.9と調査業種分類で最も不足度が高い）が要因と思われます。特に、全事業先が「燃料価格が上昇」と回答しており、収益面でも大きく悪化しております。

来期の見通しについて

貨物運輸・通運業で、引越し需要を見込みやや回復の見通しで、旅客・その他運輸通信業では、今期実績並みが予想され、全体ではやや改善も足踏み状態の見通しです。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△41.1	△35.3	△35.3	△29.4
売上高D・I	△41.1	17.6	△11.8	—
収益D・I	△35.3	△41.2	△52.9	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・売上は減少傾向にあるが、コロナ資金導入により資金繰りの安定化を図っている。
- ・燃料価格高騰の影響を受け、収益性低下する。
- ・観光中心であった為、コロナの影響は大きい。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	燃料価格の上昇 64.7%	燃料価格の上昇 94.1%
第2位	人手不足 58.8%	人手不足 58.8%
第3位	売上の停滞・減少 41.2%	売上の停滞・減少 35.3%

(複数回答)

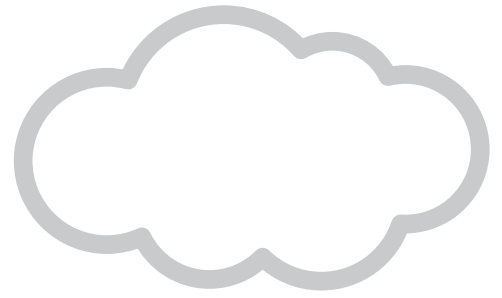
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 82.4%	経費を節減する 82.4%
第2位	販路を広げる 41.2%	販路を広げる 52.9%
第3位	労働条件を改善する 29.4%	労働条件を改善する 情報力を強化する 29.4%

(複数回答)



農業

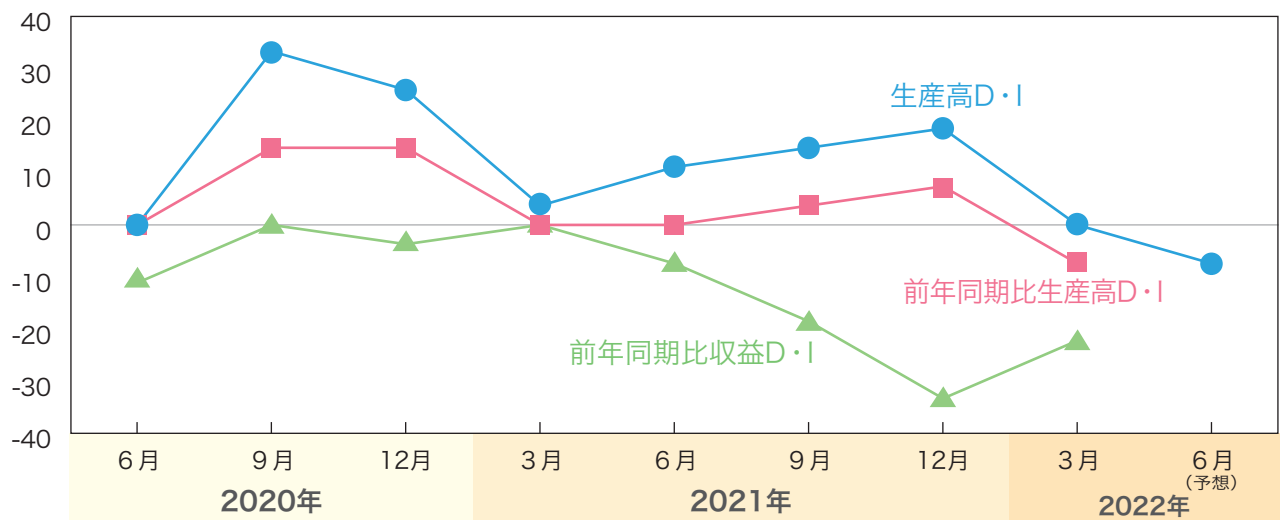


概況

生産高D・I値は、前期比18.5ポイント悪化しました。また、管内では今冬も農業施設が雪害による被害情報が確認されております。収益D・Iは△22.2となり前期比11.1ポイント改善しましたが、マイナス圏内での推移となりました。玉ねぎ価格は高値継続するも、米価は大幅な低値で推移した一方で、生産資材は高騰が続いたためと思われます。来期は、ウクライナ情勢を背景に更なる生産資材の高騰及び水田利活用交付金制度への対応も必要なため、厳格な経営と所得安定に向けた対策が必要になります。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
生産高D・I	3.7	18.5	0.0	△7.4
前年同期比生産高D・I	0.0	7.4	△7.4	—
収益D・I	0.0	△33.3	△22.2	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・米価の下落続いており苦戦が続く。コロナ終息し飲食店の景気回復しなければ、厳しい経営環境続く見通し。
- ・今後も資材、種などの価格上昇見込まれ、収益面の低下が予想される。又、5年後には転作奨励金が見直しとなるため厳しい経営が予想される。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人手不足 48.1%	生産者価格の低迷 48.1%
第2位	生産者価格の低迷 37.0%	経費の増加 40.7%
第3位	品質競争の激化 機械・設備の老朽化 機械・設備の値上がり 25.9%	人手不足 33.3%

(複数回答)

特別調査

原材料・仕入価格の上昇による 中小企業への影響について

当金庫が今回実施致しました第143回中小企業景気動向調査と併せて（運輸業と農業を除く）172先について「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について」をアンケート調査した結果です。

問1. 貴社では、最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。下記の1～7の中から1つ選んでお答えください。

- | | | |
|--------------|-------------|----------|
| 1 危機的な悪影響がある | 4 ほとんど影響はない | 7 その他（ ） |
| 2 かなり悪影響がある | 5 むしろ好影響がある | |
| 3 多少悪影響がある | 6 わからない | |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
1 危機的な悪影響がある	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.6%
2 かなり悪影響がある	43.5%	21.4%	27.3%	10.0%	18.6%	0.0%	22.7%
3 多少悪影響がある	52.2%	64.3%	54.5%	66.7%	65.1%	28.6%	58.7%
4 ほとんど影響はない	4.3%	14.3%	18.2%	23.3%	11.6%	71.4%	17.4%
5 むしろ好影響がある	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 わからない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.6%
7 その他（ ）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

最近の原材料・仕入価格の上昇による収益に対し、「多少影響がある」と回答した事業先が58.7%と最も多く、「かなり影響がある」22.7%、「ほとんど影響がない」17.4%の順となりました。「悪影響（危機的・かなり・多少を含む）」と回答した事業先は全体で82.0%を占め、収益に対し大きなマイナス要因となっていることが窺えます。「悪影響（危機的・かなり・多少を含む）」と回答した事業先は業種別に見ると、製造業95.7%、建設業86.0%、卸売業85.7%と軒並み高い水準となっており、大きく影響を受けております。不動産業では71.4%の事業先が「ほとんど影響がない」と回答しており、業種間で大きな差がみられました。

問2. 貴社の原材料・仕入価格は、1年前と比較してどの程度変化しましたか。下記の1～9の中から1つ選んでお答えください。

- | | | |
|---------------|---------------|---------|
| 1 0～3%程度の上昇 | 5 15～20%程度の上昇 | 9 むしろ低下 |
| 2 3～5%程度の上昇 | 6 20～25%程度の上昇 | 0 わからない |
| 3 5～10%程度の上昇 | 7 25～30%程度の上昇 | |
| 4 10～15%程度の上昇 | 8 30%以上の上昇 | |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
1 0～3%程度の上昇	13.0%	28.6%	34.5%	30.0%	20.9%	85.7%	29.1%
2 3～5%程度の上昇	21.7%	21.4%	16.4%	36.7%	23.3%	0.0%	22.1%
3 5～10%程度の上昇	26.1%	14.3%	25.5%	16.7%	30.2%	0.0%	23.3%
4 10～15%程度の上昇	21.7%	21.4%	7.3%	6.7%	18.6%	0.0%	12.8%
5 15～20%程度の上昇	4.3%	7.1%	9.1%	0.0%	2.3%	0.0%	4.7%
6 20～25%程度の上昇	4.3%	7.1%	3.6%	6.7%	0.0%	0.0%	3.5%
7 25～30%程度の上昇	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
8 30%以上の上昇	4.3%	0.0%	1.8%	3.3%	2.3%	0.0%	2.3%
9 むしろ低下	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0 わからない	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	14.3%	1.7%

原材料・仕入価格の1年前との比較では、「0～3%程度の上昇」と回答した事業先が29.1%と最も多く、「5～10%程度の上昇」23.3%、「3～5%程度の上昇」22.1%の順となり、これら「0～10%程度の上昇」とする事業先は全体の74.5%を占めております。また、「0～10%程度の上昇」と回答した事業先は、業種別では不動産業85.7%、サービス業83.4%、小売業76.4%と続きました。一方、「10～30%程度の上昇」と回答した事業先は、業種別では卸売業35.6%、製造業30.3%、建設業20.9%の順となっております。

問3. 貴社では、原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できていますか。下記の1～9の中から1つ選んでお答えください。

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1 転嫁できている（仕入価格上昇の100%） | 6 全く転嫁できていない（仕入価格上昇の0%） |
| 2 ほぼ転嫁できている（仕入価格上昇の80～100%程度） | 7 転嫁どころか販売価格は低下している |
| 3 ある程度転嫁できている（仕入価格上昇の50～80%程度） | 8 仕入価格は上昇していないので転嫁の必要なし |
| 4 多少転嫁できている（仕入価格上昇の20～50%程度） | 9 わからない |
| 5 ほとんど転嫁できていない（仕入価格上昇の0～20%程度） | |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
1 転嫁できている（仕入価格上昇の100%）	0.0%	7.1%	7.3%	3.3%	4.7%	0.0%	4.7%
2 ほぼ転嫁できている（仕入価格上昇の80～100%程度）	4.3%	50.0%	23.6%	13.3%	18.6%	14.3%	19.8%
3 ある程度転嫁できている（仕入価格上昇の50～80%程度）	26.1%	14.3%	21.8%	20.0%	30.2%	0.0%	22.7%
4 多少転嫁できている（仕入価格上昇の20～50%程度）	47.8%	7.1%	12.7%	16.7%	14.0%	0.0%	17.4%
5 ほとんど転嫁できていない（仕入価格上昇の0～20%程度）	21.7%	14.3%	23.6%	26.7%	25.6%	14.3%	23.3%
6 全く転嫁できていない（仕入価格上昇の0%）	0.0%	0.0%	5.5%	3.3%	0.0%	28.6%	3.5%
7 転嫁どころか販売価格は低下している	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8 仕入価格は上昇していないので転嫁の必要なし	0.0%	7.1%	5.5%	16.7%	4.7%	28.6%	7.6%
9 わからない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	14.3%	1.2%

原材料・仕入価格の上昇による販売価格への転嫁について、「ほとんど転嫁できていない」と回答した事業先が23.3%と最も多く、「ある程度転嫁できている」22.7%、「ほぼ転嫁できている」19.8%の順となりました。「転嫁できている（ほぼ・ある程度・多少を含む）」と回答した事業先は全体で64.6%を占め、概ね価格転嫁への取組が進んでいると思われます。「転嫁できている（ほぼ・ある程度・多少を含む）」と回答した事業先は、業種別では卸売業78.5%、製造業78.2%、建設業67.5%と続きました。「転嫁できていない（全く・ほとんどを含む）」と回答した業種別では、不動産業42.9%、サービス業30.0%、小売業29.1%となっております。

問4. 原材料・仕入については、価格の上昇のほか、調達遅延、数量確保困難などといった声も聞かれています。貴社では、各種資材や製商品の量や質は確保できていますか。確保できているという方は1を、問題を抱えている方は現在行っている対策を2～0の中から最大3つまで選んでお答えください。

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1 必要量・質が確保できている。(値上げによる調達を含む) | 6 受注(販売)の停止 |
| 2 代替商品の調達(同等品質) | 7 販売先への納期の調整 |
| 3 代替品の調達(品質の見直しなど) | 8 取扱商品の見直し(新商品など) |
| 4 仕入先の変更・多角化 | 9 その他() |
| 5 受注(販売)数量の制限 | 0 特に対応を行っていない |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
1 必要量・質が確保できている。(値上げによる調達を含む)	56.5%	64.3%	50.9%	50.0%	51.2%	57.1%	52.9%
2 代替商品の調達(同等品質)	8.7%	21.4%	16.4%	20.0%	16.3%	14.3%	16.3%
3 代替品の調達(品質の見直しなど)	0.0%	21.4%	10.9%	0.0%	14.0%	14.3%	9.3%
4 仕入先の変更・多角化	13.0%	21.4%	5.5%	0.0%	11.6%	0.0%	8.1%
5 受注(販売)数量の制限	8.7%	7.1%	7.3%	3.3%	2.3%	0.0%	5.2%
6 受注(販売)の停止	0.0%	0.0%	5.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
7 販売先への納期の調整	8.7%	21.4%	16.4%	20.0%	18.6%	0.0%	16.3%
8 取扱商品の見直し(新商品など)	0.0%	0.0%	3.6%	3.3%	2.3%	0.0%	2.3%
9 その他()	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0 特に対応を行っていない	21.7%	0.0%	14.5%	20.0%	16.3%	28.6%	16.3%

(複数回答)

原材料の各種資材や製商品の量や質の確保状況及び問題に対する対策状況について、「必要量・質が確保できている」と回答した事業先が52.9%と最も多く、「代替商品の調達」、「販売先への納期の調整」、「特に対応を行っていない」が同率の16.3%、「代替品の調達」9.3%と続きました。全業種で「必要量・質が確保できている」が50%以上で、特に卸売業64.3%、不動産業57.1%、製造業56.5%において高い回答率となっております。また、製造業・サービス業では「代替品の調達」と回答した事業先はなく、品質を維持するため安易に代替品での対応ができないためと思われます。

問5. 仕入の困難化に伴い、仕入先を見直す動きも出ています。貴社では、仕入先の見直し等を検討するにあたって、重視する点がありますか。1～0の中から最大3つまで選んでお答え下さい。

- | | | |
|----------------|-----------------------|-------------------|
| 1 仕入価格 | 5 支払期日・支払方法 | 9 その他() |
| 2 商品の品質 | 6 配送・納期の融通 | 0 仕入先の見直しは検討していない |
| 3 日頃からの付き合い・紹介 | 7 注文単位 | |
| 4 安定供給力 | 8 S D G s 等、環境問題への取組み | |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
1 仕入価格	73.9%	71.4%	49.1%	33.3%	48.8%	28.6%	50.6%
2 商品の品質	21.7%	50.0%	23.6%	16.7%	14.0%	14.3%	21.5%
3 日頃からの付き合い・紹介	21.7%	21.4%	21.8%	23.3%	34.9%	0.0%	24.4%
4 安定供給力	30.4%	28.6%	21.8%	13.3%	25.6%	0.0%	22.1%
5 支払期日・支払方法	0.0%	0.0%	1.8%	6.7%	2.3%	0.0%	2.3%
6 配送・納期の融通	17.4%	7.1%	9.1%	13.3%	9.3%	0.0%	10.5%
7 注文単位	0.0%	7.1%	5.5%	3.3%	0.0%	0.0%	2.9%
8 S D G s 等、環境問題への取組み	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9 その他()	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0 仕入先の見直しは検討していない	26.1%	14.3%	41.8%	50.0%	25.6%	71.4%	36.0%

(複数回答)

仕入の困難化に伴う仕入先の見直し等を検討する場合に重視する点については、「仕入価格」と回答した事業先が50.6%と最も多く、「仕入先の見直しは検討していない」36.0%、「日頃からの付き合い・紹介」24.4%の順となりました。不動産業では、「仕入先の見直しは検討していない」が71.4%と他の業種に比べ突出しておりますが、仕入依存度が低いことに起因しております。また、「S D G s 等、環境問題への取組み」と回答した事業先はありませんでした。これは、現状対策への取組を優先し、中長期的な計画への取組にまでは至っていないことが要因と思われます。

主要経済指標

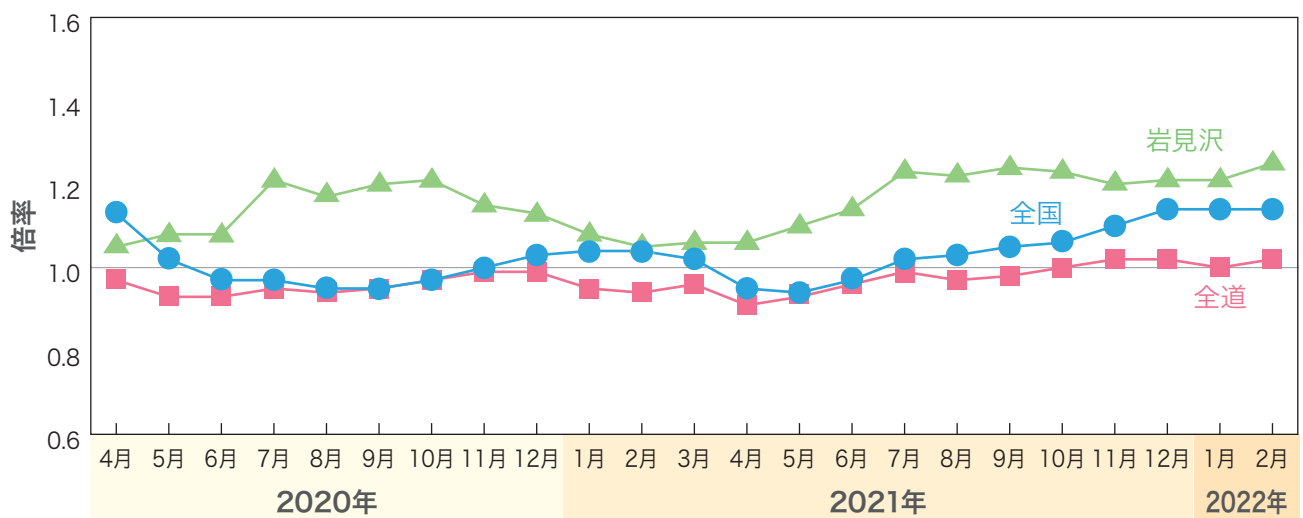
1. 空知管内・江別の人口動向

(人)

	2021年										2022年	
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
岩見沢市	78,855	78,887	78,832	78,706	78,658	78,566	78,419	78,338	78,223	78,124	77,971	77,875
美 唄 市	20,328	20,281	20,249	20,213	20,189	20,159	20,108	20,074	20,040	20,003	19,965	19,914
三 笠 市	8,040	8,059	8,039	8,029	8,012	8,007	7,982	7,977	7,954	7,930	7,936	7,880
栗 山 町	11,368	11,381	11,368	11,339	11,340	11,329	11,327	11,337	11,325	11,308	11,280	11,269
南 幌 町	7,416	7,413	7,397	7,389	7,397	7,394	7,387	7,393	7,383	7,379	7,384	7,378
由 仁 町	4,906	4,894	4,890	4,897	4,896	4,894	4,887	4,886	4,876	4,870	4,864	4,854
長 沼 町	10,442	10,431	10,412	10,405	10,392	10,387	10,376	10,357	10,343	10,337	10,316	10,326
江 別 市	119,500	119,748	119,739	119,718	119,672	119,664	119,777	119,740	119,717	119,712	119,621	119,535

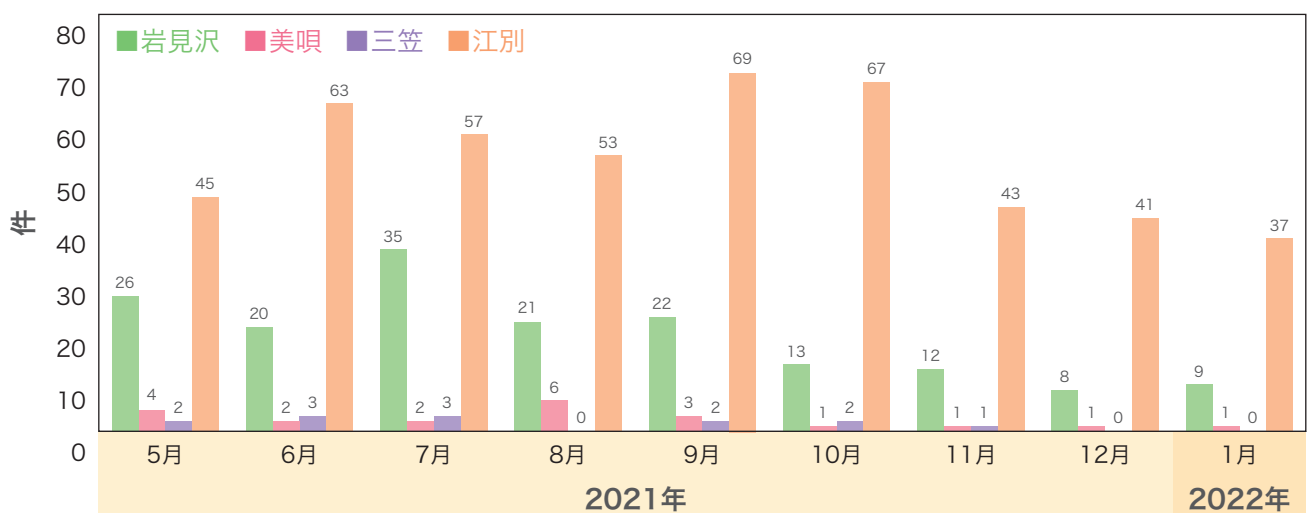
(資料：空知総合振興局)

2. 岩見沢管内の有効求人倍率



(資料：北海道労働局)

3. 建築確認申請数(4号) ※4号…木造2階建て以下の建築物

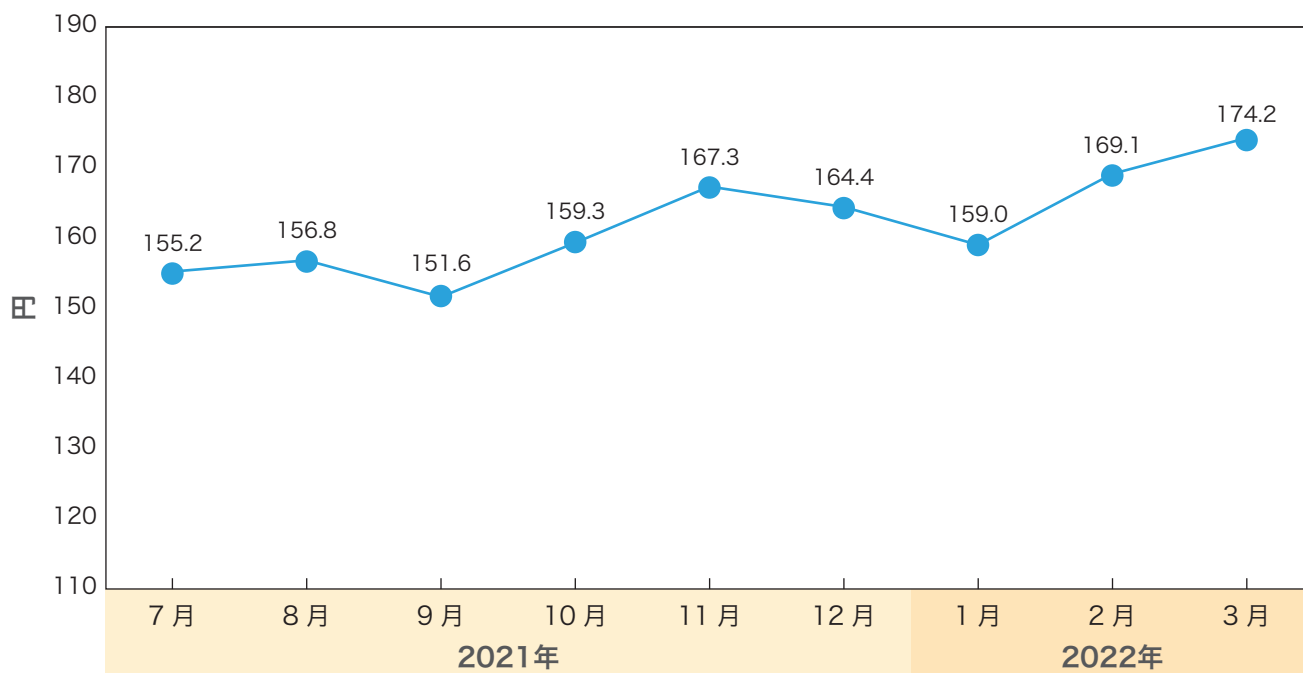


(資料：北海道建設新聞社)

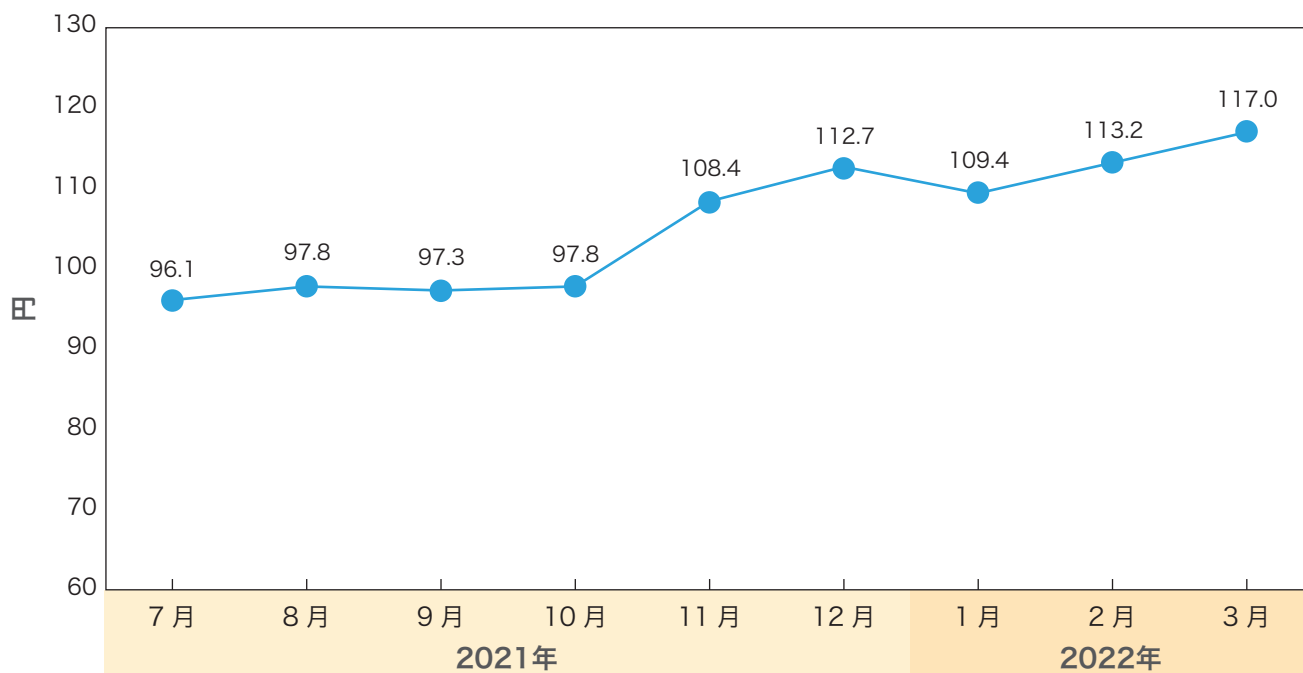
4. 管内のガソリン価格・灯油価格

(岩見沢市・美瑛市・三笠市・江別市・栗山町の平均を算出したもの)

① ガソリン



② 灯油



(資料：北海道消費者協会)

ビジネスマッチングコーナー

このコーナーでは、空知信用金庫のお取引先企業様をご紹介します。皆様の販路拡大やビジネスの連携をサポートする「誌上ビジネスマッチング」の場として、お役立てください。お問い合わせは、直接掲載企業もしくは、当金庫までご連絡ください。

ほしぱんBAKERY

取引店：札幌西支店

ほしぱんは2020年6月に札幌市手稲区星置で開業いたしました。当店では冷凍生地を使用せず、道産小麦100%・無添加生地にこだわり心を込めて焼き上げております。店内は近隣の住民が親しみやすい雰囲気を意識し、20種類程のパンを揃えています。

どんなパンなのか説明を聞きながら購入することも出来、当店イチオシのカレーパンは油で揚げていないヘルシーな甘口です。また、子供から人気のアニマルパンもあります。

お客様に商品をより楽しく安心してお選び頂けるようコロナ対策の一環でショーケースに並ぶパンをお選び頂けます。

どうぞお近くにお越しの際はお気軽にご来店ください。皆様のご来店お待ちしております。Instagramも是非チェックしてみてください。(hoshipan)

〒006-0853 札幌市手稲区星置3条5丁目3番35号
担当者：北山 朋宏 様
Tel 011-683-8322 Fax 011-683-8322
Instagram (hoshipan)



空知信用金庫の社会的取組

そらちしんきんでは、地域のお客様を直接サポートする機能強化を図るため、平成29年4月、地域支援室を立ち上げ、令和3年3月より地域支援部となりました。

地域支援部では、以下のような事業や取組みを行っております。

こどものみらい古本募金

当金庫は昨年1月にSDGsを宣言し、持続可能な地域社会創出に取り組んでいます。その活動の一環として「こどものみらい古本募金」を道内金融機関で初めて実施しています。「こどものみらい古本募金」は、2019年11月に閣議決定された新たな「子供の貧困対策に関する大綱」に基づき官公民連携で推進されているものです。来店されるお客様から古本を回収し、(株)バリューブックスへ送付、査定された買取金額を子供の未来応援基金に寄付しております。



住宅ローン 特別金利

令和4年4月1日金～令和4年9月30日金

※募集総額が25億円に達し次第、募集を終了させていただきます。

お借入時年齢が50歳未満の方対象

充実した保障が
すべて金利上乘せ **なし**

※保険会社の判断により加入できない場合があります。(保険料は当金庫が負担)

ご返済期間は**最長40年** ※保証会社の判断により短縮する場合があります。

変動金利型 新規受付利率

年 **0.65%** (※)
～年 **0.75%**

固定金利期間選択型 新規受付利率

固定金利特約期間 **10年** (※)
年 **0.80%**
～年 **0.90%**

固定金利期間選択型については固定金利期間終了後は、ご完済まで店頭基準金利から **年1.50%優遇**いたします。

スマホで簡単申込み WEBで住宅ローン

事前審査お申込みが **2ステップ** で簡単に!!

ステップ1 空知信用金庫の ホームページにアクセス

そらち信金で検索

そらち信金

検索

スマホの方は
こちらから



事前審査
お申込み 365日・24時間対応

ステップ2 サイト内の住宅ローン受付に 必要事項を入力

当金庫ホームページ内の住宅ローンWEB受付のお申込み欄
に必要事項をご入力いただき、事前審査お申込み完了!!

※事前審査結果は後日お知らせいたします。

※しんきん保証基金保証付住宅ローンのみ

事前審査後の本申込みは営業店にて受付いたします

対 象 者 / 完済時年齢80歳以下の方。
団体信用生命保険にご加入できない場合は、0.30%をご融資利率に上乘せします。

ご融資金額 / 1億円以内

ご融資期間 / 40年以内

担 保 / ご融資物件に抵当権を設定します。

保 証 / (一社)しんきん保証基金または全国保証㈱の保証。

保 証 料 / 保証会社の保証料についてはお借入時一括または保証会社が定める保証料率をご融資利率に上乘せした毎月払とします。(一括払いの例) ご融資金額100万円、お借入期間25年の場合、7,891円～152,188円(毎月払いの例) 保証料率年0.07%～0.40%
手 数 料 / お借入時年齢が<50歳未満の場合>保証付住宅ローン事務取扱手数料(お借入金額に応じて)55,000円～220,000円(税込)、<50歳以上の場合>不動産担保事務取扱手数料49,500円(税込)(年齢に関わらず)全国保証㈱の保証で保証料一括払の場合は取扱手数料55,000円(税込)。
また、繰上返済や返済条件変更の場合は当金庫所定の手数料がかかります。

※ご返済額の試算につきましては店頭へお問い合わせください。

※店頭に説明書をご用意しております。詳しくは窓口までお問い合わせください。

※固定金利特約期間満了後は、「キャップ(上限利率)付変動金利型」となりますが、ご希望により再度「固定金利期間選択型」を選択することができます。なお、固定金利選択期間中は、「変動金利型」や「全期間固定金利型」、あるいは他の固定金利特約期間への変更はできません。

※「変動金利型」から「固定金利型」、「固定金利期間選択型」に変更する際は条件変更手数料11,000円(税込)がかかります。また「全期間固定金利型」からは「変動金利型」あるいは「固定金利期間選択型」への変更はできません。

※当初お借入金利は、お申込時点の金利が適用されます。また、金利情勢の変化により、受付期間中に金利を見直しすることもあります。

LINEでそらちしんきんと友だちになろう!

様々な情報をLINEでお届け!



店舗・ATMのご案内

店 舗				A T Mご利用時間		
				●平日	●土曜日	●土・日・祝日
岩見沢市内店	本店	〒068-8660	岩見沢市3条西6丁目2番地1	TEL 0126-22-1150	8:45～19:00	9:00～17:00
	鉄北支店	〒068-0042	岩見沢市北2条西11丁目1番3号	TEL 0126-24-6233	9:00～18:00	－
	日の出支店	〒068-0824	岩見沢市日の出北4丁目2番17号	TEL 0126-25-4555	9:00～18:00	－
	美園支店	〒068-0814	岩見沢市美園4条5丁目1番10号	TEL 0126-24-6363	9:00～18:00	－
	幌向支店	〒069-0371	岩見沢市幌向南1条2丁目112番地1	TEL 0126-26-2021	9:00～18:00	9:00～17:00
	栗沢支店	〒068-0127	岩見沢市栗沢町本町55番地1	TEL 0126-45-2324	9:00～18:00	9:00～17:00
南空知管内	美唄支店	〒072-0023	美唄市大通西1条南1丁目3番6号	TEL 0126-62-7511	9:00～18:00	9:00～17:00
	三笠支店	〒068-2153	三笠市幸町12番地7	TEL 01267-2-2383	9:00～18:00	9:00～17:00
	栗山支店	〒069-1511	夕張郡栗山町中央3丁目3番地	TEL 0123-72-0208	9:00～18:00	9:00～17:00
	由仁支店	〒069-1297	夕張郡由仁町本町148番地	TEL 0123-83-2011	9:00～18:00	－
	長沼支店	〒069-1332	夕張郡長沼町中央南1丁目1番12号	TEL 0123-88-2131	9:00～18:00	－
	南幌支店	〒069-0237	空知郡南幌町栄町1丁目3番1号	TEL 011-378-2311	9:00～18:00	9:00～17:00
札幌市・江別市内	札幌支店	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6丁目2番地	TEL 011-271-3421	9:00～18:00	－
	札幌北支店	〒001-0024	札幌市北区北24条西6丁目1番5号	TEL 011-757-3435	9:00～18:00	－
	琴似支店	〒063-0812	札幌市西区琴似2条3丁目1番12号	TEL 011-644-4422	9:00～18:00	－
	白石支店	〒003-0026	札幌市白石区本通5丁目南4番36号	TEL 011-862-7766	9:00～18:00	－
	平岸支店	〒062-0932	札幌市豊平区平岸2条9丁目2番11号	TEL 011-831-8555	9:00～18:00	－
	厚別支店	〒004-0065	札幌市厚別区厚別西5条2丁目1番27号	TEL 011-895-2111	9:00～18:00	－
	札幌西支店	〒063-0061	札幌市西区西町北20丁目3番10号	TEL 011-666-8111	9:00～18:00	－
	札幌東支店	〒065-0019	札幌市東区北19条東16丁目1番8号	TEL 011-783-3611	9:00～18:00	－
江別支店	〒067-0074	江別市高砂町8番地3	TEL 011-383-1011	9:00～18:00	9:00～17:00	

店舗外ATMコーナー

			ご利用時間	
			●平日	●土・日・祝日
岩見沢市	J R 岩 見 沢 駅 (共同ATM)	岩見沢市有明町南	9:00～21:00	9:00～21:00
	ビッグハウス岩見沢店 (共同ATM)	岩見沢市大和1条9丁目	9:00～21:00	9:00～21:00
	イオン岩見沢店	岩見沢市大和4条8丁目	9:00～19:00	9:00～17:00
	本店春日出張所	岩見沢市春日町2丁目2番22号	9:00～17:00	－
	一条出張所	岩見沢市1条西1丁目	9:00～17:00	－
	であえーる岩見沢 (共同ATM)	岩見沢市3条西4丁目	9:00～19:00	9:00～18:00
	岩見沢市役所	岩見沢市鳩が丘1丁目	9:00～17:30	－
	岩見沢市役所 北村支所 (共同ATM)	岩見沢市北村赤川1593番地の1	9:00～17:00	－
	北海道中央労災病院	岩見沢市4条東16丁目	9:00～17:00	－
三 笠 市	イオンスーパーセンター三笠店	三笠市岡山1059番地の1	9:00～19:00	9:00～17:00



第143回地域企業景気動向調査
景況レポート 2022.4
発行 2022年4月30日

〒068-8660 岩見沢市3条西6丁目2番地1
空知信用金庫 地域支援部
TEL 0126-22-1171
<http://www.shinkin.co.jp/sorachi/>